

平成 28 年 5 月 11 日（水） 16:10～16:25
テレビ会議室・各（総合）振興局・東京事務所

庁議議事録

【辻副知事】

それでは、ただいまから庁議を開催します。それでは、早速議事に入ります。まず、総合政策部長から、「北海道総合計画の推進体制(案)」について説明をお願いします。

【窪田総合政策部長】

本年の 3 月に、皆様にご尽力いただきまして、今後 10 年の道の政策の基本的な方向を示します総合計画を策定、決定をいたしたところでございますが、この度、本計画に基づきまして、知事を本部長とする推進本部を設置することといたしましたので、趣旨を説明させていただきます。資料 1-1 をご覧いただきたいと思っております。

「全庁横断的な推進体制の整備」についてでございますが、推進本部は、計画の着実かつ効果的な推進に当たりまして、重点戦略計画に位置づけられております創生総合戦略や強靱化計画をはじめとした関連する計画との一体的な推進が図られますよう、振興局を含めた全庁横断的な推進体制を整備し、実効性の確保に努めるために設置するものでございます。この推進本部の役割といたしまして、重点戦略の推進組織との連携を図ることをはじめ、社会経済情勢、道民の皆様方のニーズ、政策課題の動向などの把握による重点的な政策の推進、さらには、施策間連携、横断的事業の展開を担うことといたしてございます。それぞれの構成についてでございますが、(1) の推進本部は、知事を本部長とし、庁議の構成員の皆様方を本部員に充て、その下に(2)、(3)にございますが、推進協議会並びに幹事会を置き、政策の実効性を高めるために情報共有・連絡調整などにあたりまして、テーマに応じまして参与として有識者の方々にも参加していただけるような体制を整えているところでございます。

次に、2「計画推進の流れ」でございますけれども、総合計画は、政策評価を通じまして、計画に掲げる指標の達成状況、あるいは創生総合戦略など関連する計画を含めた推進状況の一体的な推進管理を行うこととしてございまして、スケジュールといたしまして、政策評価の結果を次年度の重点政策や組織の見直しなどに反映するといった PDCA サイクルに合わせまして、推進協議会や幹事会を開催する予定でございます。なお、資料 1-2 として「総合計画推進本部設置要綱」の案をお配りしてございますので、後ほどご覧いただきたいと存じます。

総合計画のめざす姿の実現に向けまして、全庁一丸となって道庁の総力を挙げ推進されますよう、引き続き、ご協力をお願い申し上げます。私からは以上です。

【辻副知事】

この件に関して何か発言がありますでしょうか。

では、本件は案の通り決定するということにしたいと思っております。次に、知事室長から「平成 28 年度道政広報・広聴推進計画(案)」について説明をお願いします。

【浦本知事室長】

平成28年度道政広報・広聴推進計画（案）につきまして、ご説明申し上げます。お手元に資料2-1「平成28年度道政広報・広聴推進計画（案）の概要」という一枚ものをお配りしてございます。まずは、こちらの方をご覧いただきたいと思っております。なお、計画の案の本体は資料2-2として別途配付してございますので、これにつきましても参照いただきたいと思っております。それでは早速説明させていただきます。

まず、この計画は、道の広報広聴活動の年間計画といたしまして、毎年度策定しているものでございまして、まず、第1の「推進方針」でございますが、重点政策の実現に向けまして、平成26年4月に策定いたしました北海道戦略広報基本方針に基づきまして、効果的、効率的な広報活動を展開することとしております。次に、第2の「取組方針」でございますけれども、1広報活動の1点目の取組事項としては、北海道戦略広報基本方針に基づきます取組計画表により推進することとしております。この取組計画表といえますのは、資料2-2の本体の2Pに記載してございますが、インターネットの積極的な活用をはじめ、それぞれ推進項目ごとに具体的な取組計画を記載してございますので、これにつきましても後ほどご参照いただければと思っております。次に、広報活動の2点目といたしまして、広報重点テーマ等の推進でございます。広報重点テーマにつきましては、毎年度の重点政策を踏まえて設定してございますが、平成28年度におきましては、大きく書いてございますように「暮らし」、「食」、「人づくり」の3つを広報重点テーマとしたいと考えてございます。各テーマの矢印の先の方に記載してございますとおり、「暮らし」といたしましては、子育て支援に関する新たな取組や「住まいる北海道」の構築など、それぞれのテーマごとの取組に着目した広報を展開していきたいと考えてございます。

また、中段にございますように、先日決定した新たなキャッチフレーズを、本年度の「道政広報・広聴推進計画」に位置づけまして、積極的に発信して参りたいと考えてございます。なお、参考でございますが、カラーの「北海道の新たなキャッチフレーズ決定」というチラシを添付してございますが、現在、道のホームページなど各種広報媒体を活用したPRを行いますとともに、包括連携協定締結企業等に積極的な活用を働きかけているところでございます。各部、各振興局におかれましても、職員の名刺をはじめ幅広く活用していただきますとともに、関係団体、市町村への周知、あるいは活用の働き掛けをお願い申し上げたいと思っております。

資料2-1に戻っていただきまして、広報活動の3点目でございます。取組事項の進行管理あるいは庁内横断的かつ重点的なテーマなどに対応した広報について協議・検討してまいりますために、各部代表課長並びに各振興局の地域創生部長等で構成いたします広報広聴連絡会議、これを十分に活用して参りたいというふうに考えてございます。後段の方にある取組方針の2、3については、説明を省略させていただきますが、なお、本年度の広報・広聴活動を行います具体的なツールなどについて決めました、第3の実施概要等につきましては、資料2-2の計画本体の5P以降に記載をしてございます。

この中で、予算的にも一番大きなウェイトを占めますのが、5Pの一番頭でございます「広報紙ほっかいどう」の発行でございます。現在年に5回、1回あたり250万部を発行する予定になってございます。

この計画案の概要につきましてご説明は以上でございますが、最後に参考といたしまして、この「広報紙ほっかいどう」の各号ごとの特集テーマについてご報告を申し上げます。資料の中で参考ということで、1枚ものを付けておりますので、こちらの方をご覧いただきたいと思っております。特集テーマにつきましては先ほどご説明申し上げましたが、庁内の横断的会議でございます広報広聴連絡会議において検討を行ってまいりましたが、5月下旬に発行予定の最初の6月号につきましては、先ほど総合政策部長からもお話のございました「新しい総合計画」について、8月号、10月号、12月号につきましては、広報重点テーマと連動した特集、それと年度末の3月号につきましては、「北海道150年」をテーマに関連する取組を掲載してまいりたいと考えてございます。本年度の道政広報・広聴活動につきまして、各部、各振興局のご協力をお願い申し上げます。以上でございます。

【辻副知事】

この件に関し何か発言はありますか。では、本件は案のとおり決定をすることにしたいと思っております。議題は以上でありますけれども、この他この機会に発言があればお願いしたいと思っております。

【笠置総務部長】

せっかくの機会でございます。今年度に入って一月余りが経ったということで、既にお気づきの方もおられるかもしれませんが、今週月曜日の9日から「質の行政改革・業務改革」に関する庁内放送を総合振興局、振興局のご協力も得まして、全庁的に実施しております。

これは、今年度が行財政運営方針の初年度であるということもございまして、やはり職員一人ひとりが、しっかりとした意識・自覚を持って業務改善等に取り組んでいくことが重要であるということから、啓発活動として行っているものでございます。この放送につきましては、質の行政改革の取組でありますとか、事務改善についての事例紹介、また提案募集などをテーマに、当面、7月29日まで予定をしております。また、決まりましたらお伝え申し上げますけれども、職員からの提案募集といったものにつきましては、今月の下旬なり、今月末を目途に開始をしたいと思っており、今、準備を進めているところでございます。各部局、各職員におかれましては、業務改革、業務改善の推進にぜひとも取り組んでいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

【辻副知事】

この件に関し何か発言はありますでしょうか。それでは、最後に知事から一言お願い

いたします。

【高橋知事】

みなさんお疲れ様であります。高橋でございます。今回の庁議では策定を終えた総合計画の今後の推進体制についての議論、それから広報広聴推進計画についても議論があったところでございます。それぞれ大変重要なことでございます。特に総合計画は、議会、あるいは有識者の皆様方、様々な形でご議論をいただいた結果、できたものでもございますので、道庁の総力を挙げてしっかりと取り組んでいくということをよろしくお願ひ申し上げたいと思います。

ちょっと後先になりましたが、熊本地震発生の後、知事会あるいは国からの要請等に対応する形で医療分野あるいは技術者の面など人員派遣などの支援活動に取り組んでいるところでございます。これからも現地の状況の変化の中で様々な要請が出てくると思うわけでありまして、私どもとしてもしっかり対応していかなければならないと思ひますので皆様方のご理解、ご協力を心からお願い申し上げます。

キャッチフレーズのご紹介もございました。「その先の、道へ。北海道」、
「Hokkaido. Expanding Horizons.」というものであります。大いにこれをまずは、名刺等に入れていただいご活用いただければと思う次第であります。

そして、広報活動の計画の中でのご紹介もございましたが、150年事業に向けての取組ということも、やはり道民の皆様方のご意見をしっかりと踏まえてやっていくということをやるとすれば、今からでも遅いくらいとまで言いませんけども、十分に時間的ゆとりをもって準備を進めていく、検討を進めていくべきテーマだと思ひますので、皆様方のこちらの方もご理解、ご協力をお願いいたします。

【辻副知事】

以上で庁議を終了いたします。